【FiNE-LINK PLUS×LINE WORKS 共同プロジェクト】

介護医療事業所同士が
ネットワークで結ばれる未来を目指して

「業務効率化(ICT化)・緊急・地域BCP対策(外部間事業所連携)を同時に実現します」

FiNE LINK PLUS

FiNE-LINKPLUS×LINE WORKS 共同プロジェクト



《目的》

①行政機関と地域事業所の情報共有の円滑化

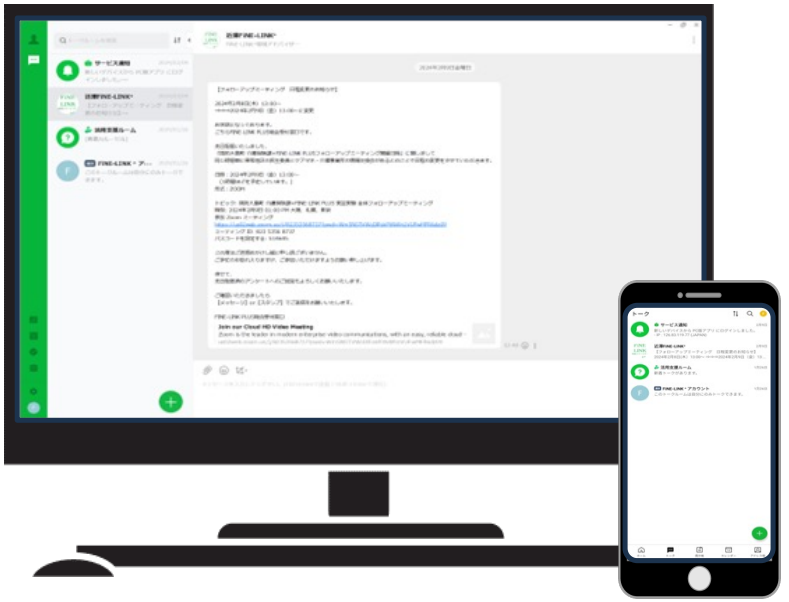
②現場での業務効率化と情報共有体制の構築

③感染対策や災害時等の情報連絡手段の構築

なぜ、LINE WORKSとの共同プロジェクトなのか？

①皆さんが使い慣れているLINEとほぼ同じ操作方法・インターフェイス

- ○個別でやりとりができる
- ○グループでやりとりができる（既読・未読の詳細確認が可能）
- ○無料通話ができる
- ○無料ビデオ通話ができる(200まで)
- ○ファイルが送れる(最大2GB)
- ○写真が送れる
- ○動画が送れる
- ○他　共有カレンダー・ノート機能　など



②システムの安定運用

③ビジネスに使えるセキュリティ対策

④ご利用方法:PC・タブレット・スマホ(複数台同時ログイン可能)

- ○利用デバイス推奨:《法人・事業所等が所有するパソコン、タブレット、スマートフォン》

LINE WORKSの強固なセキュリティ体制

LINE WORKSは、
LINEの兄弟会社です

●電気通信事業法や個人情報保護法などの日本の法律を遵守
●第三者機関 ISO27001、27017、27018やSOC2/3の国際認証を取得
●SOC2およびSOC3報告書においても監査人からセキュリティやデータ管理を含め、
注記事項はなく、高いセキュリティ水準のサービス提供を証明

これらの、情報セキュリティは AMAZONや マイクロソフト等が取得されているものと同基準です。

LINE

一般ユーザー向け
モバイルメッセンジャープラットフォーム

パブリックSNS
（公開型）

LINE WORKS

ビジネス向けコミュニケーション
&コラボレーションプラット

プライベートSNS
（非公開型）

●24時間365日専門エンジニア監視
●LINE WORKSは法人利用を前提としており、すべてのユーザーデータは
日本国内の データセンターに配置
●バックアップも含めてすべて日本国内に保管
●作業を通じて韓国など国外にデータを送ることはありません。



インフラシステムのセキュリティ　《LINE WORKS》

データセンター

・ファシリティー/システムの耐久性

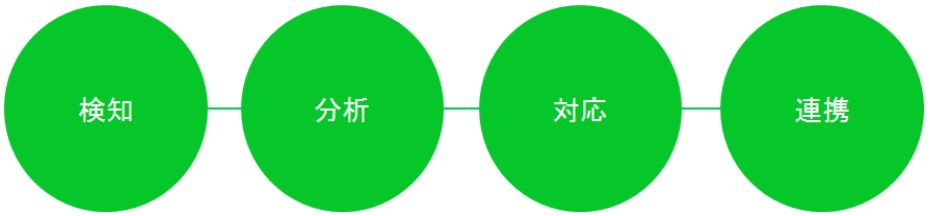
LINE WORKS のデータセンターは、
最新の物理セキュリティを備え、想定できる様々な災害等の状況にも耐え得る堅牢な建物と、システム構成を採用しています。
また、多重構造によるデータ保護にて安全にバックアップを行ない、国際認証を取得した高いレベルの情報管理システムとワークフローにてサービスを提供しています。

サービスシステム

・情報セキュリティ

サービスのインフラは、他のコンシューマー向けサービスとは分離した環境で運用されており、セキュリティ専門スタッフによる 24×7 の体制で、365日すべてのアクセスをモニタリングしています。
リアルタイムでのウィルス検知、トレンドに合わせたマルウェア対策とスパムフィルタリングはもちろん、DoS・DDoS攻撃に代表される外部からの脅威も常時監査され、セキュリティリスクを検知した場合には、それらの分析、対応、またその再発防止に向けた情報共有と必要な機関との連携を迅速に行っています。

なお、システムの点検では、SQL インジェクション、クロスサイトスクリプティング(XSS)、クロスサイト リクエストフォージェリ(CSRF)等の脆弱性、認証・セッション管理の脆弱性に対する様々なテスト、さらに専用のセキュリティ診断ツールを用いた自動診断と、チェックリストを用いた手動診断を並行して実施し、高いセキュリティレベルの維持に努めています。



FiNE-LINK PLUSの役割

01

地域ネットワーク構築のスタートアップ・コンサルティング業務

・初回：スタートアップミーテイング（全体研修会）

運用方法や操作方法等の説明

・ネットワーク利用の事業所アドレス構築

サービス種別ごとの登録及び組織構築など　※事業所の情報提供にて構成

02

地域ネットワークの定着維持に向けての運用サポート

・ネットワークの定期的アドバイス・ネットワーク研修開催

年間2・3回：フォローアップミーテイング（全体研修会）

都度の課題解決に向けての考察・活用方法・アドバイス など

・ネットワーク内の事業所担当者からのお問い合わせ対応

運用方法の相談や操作の質問などのお問い合わせに対応

・FiNE-LINK PLUSネットワーク構築内の専用アカウントの管理業務

新設・廃業（個人登録による入退職）のアカウント付与・削除など

03

ネットワーク専用BOTで地域のお困りごとを解決

・ネットワーク内でのお知らせ配信の代行

条件に合う施設・サービス探し
事業者特化情報や研修会等の地域一斉配信など

ネットワーク専用基盤構築でのご提供

※専用アカウント内のみの運用→外部とは繋がることが出来ません。
ネットワーク登録（＝専用アカウント付与）
・各事業所＝１登録
・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所のケアマネージャー＝個人登録（在籍人数分）

アドレス帳で地域がつながる（全事業所リスト登録済み）

FiNE-LINKPLUSのネットワークに登録すると、
すぐに他事業所とつながることが可能になります。



アドレス帳から任意で「個別トークルーム」
「グループトークルーム」を簡単に作成できます。

繋がるメリットその① 手間削減（時間効率）

◆郵送関係



・プリントアウト
・宛名ラベル、封作業
・投函の手間



・クリック1つで送信
・既読がつくから安心

◆FAX 関係



・プリントアウト
・FAXセット
・誤送のリスク



・クリック1つで送信
・送信取り消し出来て安心

◆行き違い



・折り返し待ちに時間ロス
・いつ誰からの電話があったか
　伝言が必要



・既読がついて安心
・電話するまでもない
　報告に便利
・もちろん無料通話もできる

◆メール



・E-mailは探す手間とウィルス対策必要
・ファイル等の送付量は一般/25MB以下
・TO、CC、BCCの送信制限あり
・送信相手の開封確認が一方通行で不透明



LINE WORKS

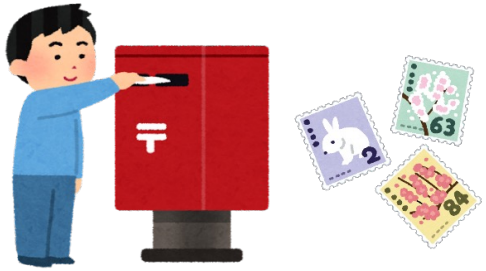


繋がるメリットその② 経費削減

◆郵送例

1通 110円×10件=1100円

＋α　紙代金、印刷代金、
封筒代金など



・Excel、PDF、
Wordなどの
ファイルの添付
・データで保存もできる



◆FAX例

1通 約10円×10件=約100円

＋α　紙代金、印刷代金など



・Excel、PDF、
Wordなどファイルの添付
・データで保存もできる
・必要な分だけプリントアウト

◆電話例

1回30円×40回=1,200円

固定電話→固定電話　約8円/3分
固定電話→携帯電話　約17円/1分





・文字で送る
・無料通話ができる
・ビデオ通話も無料

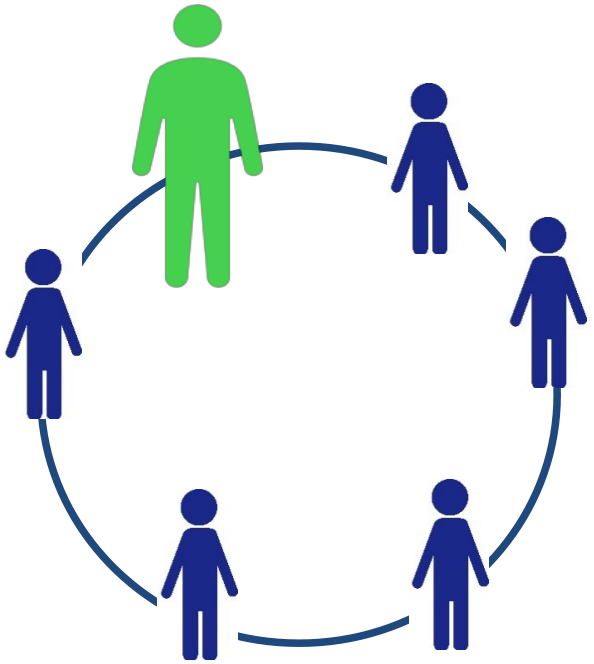
①行政機関と地域事業所の情報共有の円滑化

‹自治体と事業所の連携›

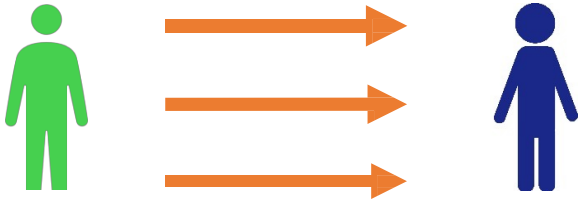
地域事業所へ全体・種別ごと一斉配信

メールやFAXでの案内から
ICTツールで一斉配信するネットワークへ
（法改定のお知らせや地域情報etc）

「行政機関」

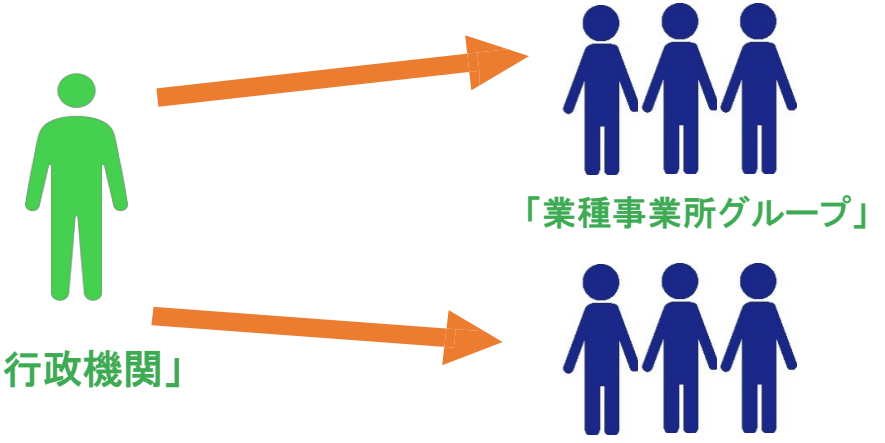


行政機関⇔事業所の個別やりとり



「行政機関」　「事業所」

行政⇔各種事業所間グループでやりとり



「行政機関」

「業種事業所グループ」

「他作成グループ」

行政からの地域一斉お知らせ

事例1：県からの周知を案内

各介護サービス事業所　管理者　様
平素は、本県の高齢者福祉行政の推進に御理解と御協力をいただき厚くお礼申し上げます。
厚生労働省から、令和6年度介護職員等処遇改善加算等の算定について事務連絡がありましたのでお知らせします。
介護保険最新情報vol.1209　事務連絡「介護職員等処遇改善加算等に関する基本的考え方並びに事務処理手順及び様式例の提示について（案）」の送付について」は以下のURLからご確認下さい。

・介護保険最新情報 vol.1209
https://www.mhlw.go.jp/content/001219304.pdf

・事業者向けリーフレット
https://www.mhlw.go.jp/content/001218746.pdf

・厚生労働省　介護保険最新情報掲載ページ
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/index_00010.html

【事務連絡の内容】
内容については現在調整中であり、令和6年3月中旬を目途に正式に発出する予定ですが、新年度からの加算等取得に係る事務の便宜に資するため、現時点の案としてお示しするものです。

本加算を活用した処遇改善の実施につきましては、下記の厚生労働省相談窓口へお問い合わせ下さい。
お問い合わせ先
介護職員等処遇改善加算等　厚生労働省相談窓口
電話番号：●●●- ●●● - ●●●●
受付時間：9:00～18:00（土日含む）
●●県高齢政策課　介護●●対策班

事例2：地域案内の周知

★★「介護従事者就労定着支援金」について
●●●●町介護従事者就労定借支援金交付要綱をお知らせします。
令和6年4月1日施行となっております。



②現場での業務効率化と情報共有体制の構築

≪今の現状≫

過酷な連絡のやり取りが、
福祉の連携をスローダウンさせている。

空きのある施設が、
どこにあるかわからない。

連携や日程調整が、スムーズにいかない。



電話のかけ違いで、つながらず。。
お互いに時間が過ぎていく。

現場での活用事例①　個別のやりとり

●訪問介護

報告の連絡をしても訪問中などでお互い電話のすれ違いが多い現状でしたが、
細かな連絡事項を書き込み「既読」の確認が出来るので安心です 。



ケアマネジャー

●施設・短期入所

担当者会議の日程調整や空き状況の確認をチャット（トーク）で送り、相談員の方とスムーズな連携を取れるようになりました。

●訪問看護

怪我の様子やお薬などを写真で撮影して送っています。

●通所介護

利用者様の照会データ・報告・空き情報などをFAXから変えました。

●福祉用具貸与

福祉用具設置時の状況を写真で状況報告が行えるようになり、分かりやすくなりました。

他、**運営状況の把握や事務的書類やケースの相談**などの情報交換として、幅広く利用しています。

現場での活用事例②　個別のやりとり

●居宅介護支援

入退院の調整や入院中の様子などの共有に役立っています。他に利用者情報を**写真・動画やデータでの情報共有**を行っています。



地域連携室

●施設関係

退院調整での受け入れ先に対して、写真・動画等で**利用者の状態・処置方法等の共有**を行っています。他に日程調整等にも活用しています。

●居宅介護支援

訪問終了後の経過やキャンセル連絡等をスムーズに共有を行っています。

共有データのやりとりにおいても**FAXよりも手間が省けて、誤送信防止**にも役立っています。



クリニック

●訪問看護

処置対応の指示や経過報告等の共有を行っています。

他、電話でのすれ違い防止や写真・動画での情報共有により伝達がスムーズになりました。

●薬局

処方箋や薬に関する情報共有等に役立っています。

調整事を含め、**過去のやりとりを見直すこともでき**安心して活用しています。

現場での活用事例②　グループでのやりとり



グループチャット

利用者様ごとのグループチャットも任意に作成でき多職種で情報交換が出来るので助かっています。

同業種・他業種同士の意見交換や情報提供や事務的書類の共有など幅広く利用しています。



ビデオ通話ミーティング

コロナ禍で集まれなくても、仕事が止まってしまうことがありませんでした。

リモートで、情報交換や担当者会議の出席ができています。

条件に合う施設や在宅サービス・ケアマネ探しまで

FiNE-LINK PLUS なら、探したい 施設やサービスの条件や要望を入れてメッセージを送るだけでOK!!対象の施設やサービスの事業所へメッセージが届き、要望が合えば事業所からの連絡を受けて、すぐにすり合わせを始めることができます。

①FiNE-LINK PLUS独自サービス

施設・サービス探し

すぐに入所できる施設を探したい



マッチング！

マッチングはチャットでやりとり



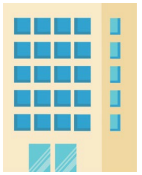
BOTシステム



Aケアマネが施設を探しています！



Aケアマネが施設を探しています！



空いてます！

POINT 01
サービス計画者が依頼
概要情報や条件などを専用Botに記載し事務局に自動送信

POINT 02
セキュリティチェック
事務局にて個人情報の記載などがないかのチェックを行う

POINT 03
事務局が配信
該当する対象の事業所に情報を一斉配信

POINT 04
相談員は情報確認
受け入れ可能もしくは調整希望の事業所のみ個別返信

POINT 05
サービス計画者との調整
詳細の確認・見学調整などを行う

対象の事業所にのみダイレクト配信！

※運用ルール:個人情報の記載は禁止（条件・要望のみ）

【マッチング事例-1】

【希望県名】兵庫県
【希望市区町村】神戸市
【探されるサービス（カテゴリ）】ショート（特養）
【依頼するご利用者概要（年齢、性別）】93歳　男性
【依頼するご利用者のお住まい（〇〇市〇〇町など）】神戸市西区在住
【要介護度】要介護1
【依頼内容とご利用者の状態】
ADL自立。住宅集会所の集まりには歩行器使って一人で外出している。
生活に支障のある認知機能低下なし。
KPの長女が入院するため4/8～18までショート希望
インスリンが1日1回あり、施設で摂取希望

【募集期限】3月15日
【依頼者事業所名】●●ケアプランセンター
【依頼者氏名】●●

【マッチング事例ー2】

【希望県名】兵庫県
【希望市区町村】神戸市
【探されるサービス（カテゴリ）】施設系
【依頼するご利用者概要（年齢、性別）】82歳　女性
【依頼するご利用者のお住まい（〇〇市〇〇町など）】神戸市北区在住
【要介護度】要介護2
【依頼内容とご利用者の状態】
認知症あり。
人工肛門対応可能、生活保護対応可能な施設を探しています。

【募集期限】11月30日
【あなたの事業所名】●●●●センター
【依頼者氏名】●●



即日マッチング！

様々な在宅サービスや入所系や請負居宅など幅広く活用

FiNE-LINK PLUS独自のサービス―②

広告配信（タイムズ）

事業所が新しいサービスやお知らせを配信するシステム



新しいサービス開始しました！





G施設が新しいサー ビス開始



G施設が新しいサー ビス開始



担当の利用にぴったり ！

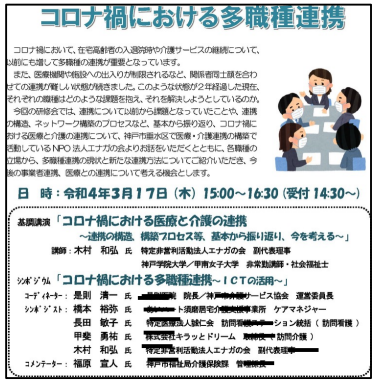
マッチング！

G施設に連絡

事例１：研修案内事例

【配信希望エリア】兵庫県神戸市全域
【配信内容文章】
神戸市介護サービス協会第3回全体研修会
「コロナ禍における多職種連携」のご案内
日時：3月17日（木）15：00～16：30
会場：こうべ市民福祉交流センター　201教室
Zoomでの参加も可能です。 参加費：無料

お申込み、詳細については
下記URLより協会ホームページをご 覧ください。


コロナ禍における多職種連携

コロナ禍において、在宅高齢者の入退院時や介護サービスの継続について、以前にも増して多職種の連携が重要となっています。
また、医療機関や施設への出入りが制限されるなど、関係者同士顔を合わせての連携が難しい状態が続きました。このような状態が2年経過した現在、それぞれの職種はどのような課題を抱え、それを解決しようとしているのか、今回の研修会では、連携について以前から課題となっていたことや、連携の構造、ネットワーク構築のプロセスなど、基本から振り返り、コロナ禍における医療と介護の連携について、神戸市垂水区で医療・介護連携の構築で活動しているNPO法人エナガの会よりお話をいただくとともに、各職種の立場から、多職種連携の現状と新たな連携方法についてご紹介いただき、今後の事業者連携、医療との連携について考える機会とします。

日　時：令和4年3月17日（木）15:00～16:30（受付 14:30～）

基調講演「コロナ禍における医療と介護の連携
～連携の構造、構築プロセス等、基本から振り返り、今を考える～」
講師：木村　和弘　氏　特定非営利活動法人エナガの会　副代表理事
神戸学院大学／甲南女子大学　非常勤講師・社会福祉士

シンポジウム「コロナ禍における多職種連携～ＩＣＴの活用～」
コーディネーター：是則　清一　氏　[redacted]　院長／神戸[redacted]サービス協会　運営委員長
シンポジスト：橋本　裕弥　氏　[redacted]ト須磨居宅介護支援事業所　ケアマネジャー
長田　敏子　氏　特定医療法人誠仁会　訪問看護[redacted]ション統括（訪問看護）
甲斐　勇祐　氏　株式会社キラッとドリーム　[redacted]（訪問介護）
木村　和弘　氏　特定非営利活動法人エナガの会　副代表理事[redacted]
コメンテーター：福原　宜人　氏　神戸市福祉局介護保険課　管理係長[redacted]

事例２：事業所ＰＲ事例

【配信希望エリア】神戸市北区・須磨区・長田区
【配信内容文章】
☆神港園しあわせの家デイサービスセンター
☆神港園しあわせの家ショートステイ
認知症対応型通所介護と認知症対応に特化した特養併設ショートステイです。
認知症軽度の方から重度の方まで、幅広くお受けしています。
送迎地域については応相談ですので、ぜひお気軽にお問合せ下さい。

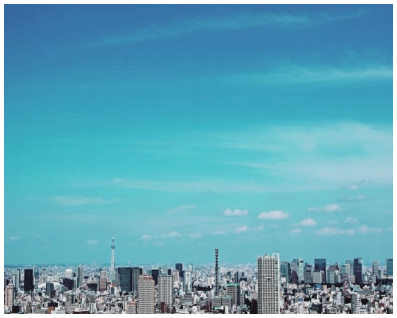
〇依頼者情報
【依頼者事業所名】特別養護老人ホーム 神港園しあわせの家

画　像　添　付



地域へ配信





各カテゴリー・サービスで特化PR可能

③感染対策や災害時等の情報連絡手段の構築

FiNE-LINKPLUSの地域ネットワークは、緊急時には

緊急時ネットワークとして姿を変えます

私達の持論としまして、

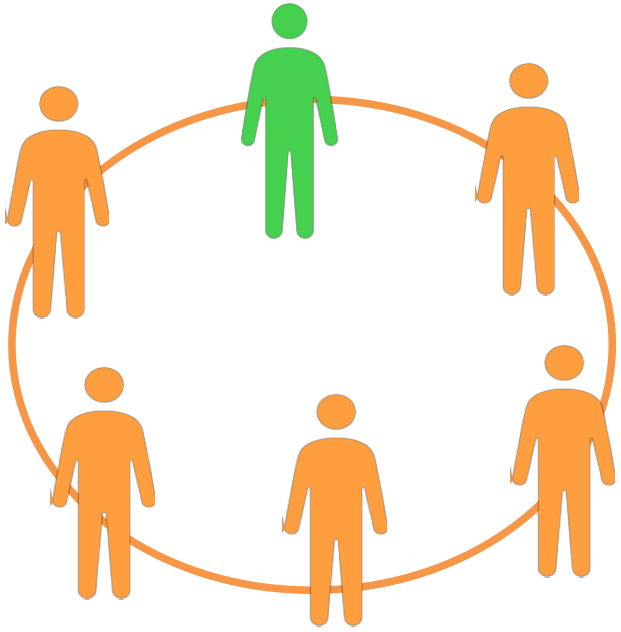
「緊急時ネットワークは、**日頃から通常ネットワークとして活用していないと、緊急時には稼働しない**」と思っております。

災害時の緊急ネットワークも実現できます

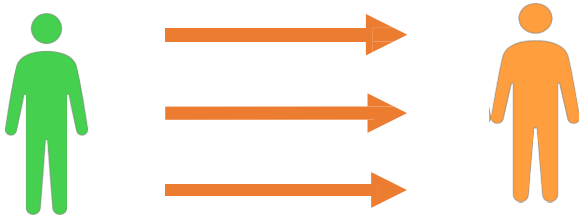
現在の日本は、来るべき大災害に向けて緊急時対策が急務となっております。 FiNE-LINKPLUSを導入することで、普段は、地域ネットワークとして、災害時などは、緊急ネットワークとして活用することが可能です。

<地域一斉告知、事業所同士の任意グループ作成にてのBCP対策有用>

地域ネットワーク」から
緊急時ネットワークへ

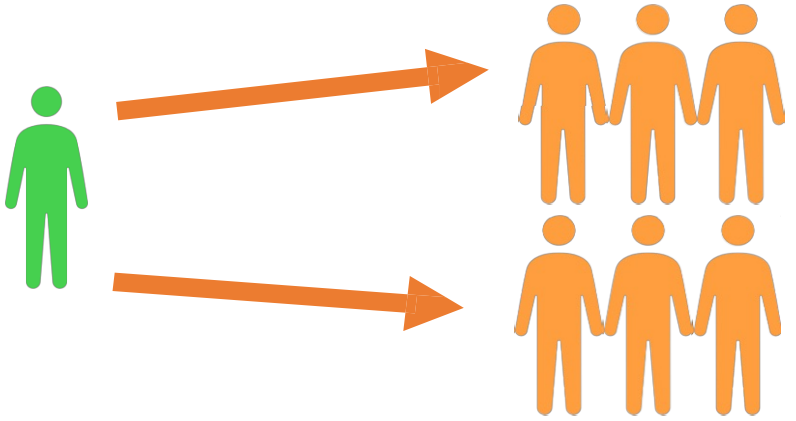


事業所間の個別やりとり



「団体」「事業所」　　「団体」「事業所」

行政⇔任意の事業所間グループでやりとり



「事業所
グループ」

「地域団体
行政」

≪実際の地域への緊急連絡≫



行政担当課さま

【台風による被害状況の報告について】
これまで[redacted]市内の高齢施設・事業所からの被害報告はない状況ですが、県内では高齢者施設等の被害が出ているようです。
基本的には、県へ災害時情報共有システムを通じて報告するようになっておりますが、システムを通じての報告ができない等ある場合、こちらで報告ください。事業所から受けた報告については、こちらから県へ報告いたします。
●報告内容
・施設名
・被害状況（例：玄関エントラス天井の雨漏り）
・人的被害の有無



行政担当課さま

【南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）について】
昨夜、8月8日19:15、気象庁は南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表しました。
各介護事業所等におかれましては、BCP(業務継続計画)を再確認され、備えを十分に行ってください。

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）について.pdf
期間：~2027年8月9日 11:40
サイズ：3.4MB



地域応援要請

【緊急 認知症者捜索依頼】
-- 緊急時ネットワーク配信 --
【配信希望県名】兵庫県
【配信希望市区町村】西宮市、芦屋市、尼崎市、宝塚市、神戸市北区
【ご依頼される内容】
要介護1男性認知症で13日夜から散歩中行方不明。
Tシャツ、灰色ズボンの軽装、所持品無し。
見つけられた方は下記事業所までご連絡下さい。



◆行政機関・介護医療事業所間連携　地域ネットワーク活用範囲

FiNE-LINKPLUS は、通常時・緊急時(BCP)時での対応や、
地域全体・事業所間・任意団体・個別に至るまで幅広い連携が可能です。

《緑枠内：通常・緊急活用例》

通常対応時

行政・介護医療地域連携

【行政機関】

◯行政機関からの地域案内・法改定周知・
研修案内・結果議事録の情報提供等
◯事業所への事務連絡・調整・関係書類送付等
◯運営状況の把握や共有やアンケート実施 など

【事業者】

◯ケースなどの情報の連絡連携等
◯日程調整・関係書類送付等
◯事務連絡・運営状況共有等
◯施設、サービス探しのマッチング効果
◯広報、研修案内等での生産性向上効果　など

緊急対応時

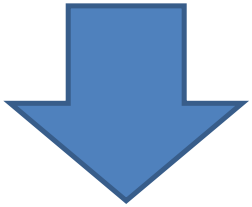
緊急時(BCP)地域連携

【行政機関】【事業者】

◯徘徊者捜索の事業所応援要請
◯行政機関からの地域情報・注意喚起等の配信
◯避難場所・対応手段・応援要請等の指示告知
◯事業所との周辺状況・被害状態等の情報共有など

FINE LINK PLUS

というネットワーク



行政担当部署・地域全事業所において多種多様なメリットが生まれます。

時代にあった外部事業所間同士の通常時・緊急時におけるトータル的な
地域全体の**効率化/共有体制の構築**を行います。